

3月議会が終わりました。市長就任から1年。来年度予算は、初めから水野市長の下で編成されたもので「水野色」が出ているかどうか注目されました。

党市議団は下記表の通り、一般会計、国民健康保険、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の4議案に反対。3月25日の市議会最終日に、川村議員が討論に立ち問題点を指摘しました。

一般會計

国の「緊急経済対策」により市の公共事業に不要不急の内容が入り込んでいないかどうか、この点では問題無しという見解です。

ソフト面では、母子保健事業、養育支援訪問事業など、孤立した状況下で子育てに直面する母親が増加する中必要な施策が盛り込まれ評価できます。

ここ数年来批判を続けてきた現職警察官の派遣受け入れは、県警の意向により中止となりました。

化対策、全小中学校における施設の被構造部材の点検、公民館の屋上や外壁の改修など、老朽化対策に力を入れた内容です。

滞納整理機構への職員派遣を継続すること  
私立高等学校等授業料補助を復活しないこと  
を理由として反対しています。

市長選挙時、他候補

を支援していた公明党（伊藤議員）が賛成討論。

国保会計

来年度の国保予算の  
特徴は1億2000万  
円ほどと試算された財  
源不足の半分を国保会  
計の基金で、もう半分  
を一般会計からの繰入  
増で対応するという内  
容です。

介護保険  
高齢者保健福祉計画  
と来年度予算を比較す  
ると、計画より保険給

下の国保加入者は約1万6千人で、保険税減額による直接的な可処分所得増加は、多くが消費に回る可能性が高く、そのような狙いからも国保税引き下げに取り組むべき。

## 介護保険

高齡者保健福祉計画  
と来年度予算を比較すると、計画より保険給付が約3億円少ない予算。

計画が過大な保険給付を見込んでいるという指摘もでき、昨年の保険料改定で基金の全額取り崩しは可能だった。

## 後期高齢者医療

75歳以上の高齢者を医療から遠ざけ、年齢によって差別を行う制度である同制度の廃止を求める立場から反対。



## 3月議会

## 賛否の分かれた議案などに対する各議員の態度

: 賛成      × : 反対

議長は  
採決に加わりません。

[illegible]